

七夕 (小学生)

にオススメ!



織姫と彦星

<献立例>

「七夕給食」

・七夕汁

・お星さまフルーツポンチ
など



<「織姫と彦星」あらすじ>

昔、織姫という天の神様の娘が、天の川の川岸に暮らしていました。機織りが上手だった織姫は、天に暮らす人々の着物の布を織っていました。天の神様は、年頃になった織姫を向こう岸に暮らす牛飼いの彦星と結婚をさせました。すると、二人は、一緒に遊んでばかりいて、全く仕事をしなくなりました。織姫と彦星は、天の神様にまじめに働くように注意をされましたが、遊ぶことをやめませんでした。怒った天の神様は、二人を天の川の兩岸に引き離してしまいました。しかし、織姫があまりにも悲しむのでかわいそうになり、以前のようにまじめに働いたのなら、一年に一度、7月7日の夜だけ会ってもよいことにしたのです。

それからというもの、二人は会うことを楽しみに、機織りと牛飼いの仕事に精を出しました。そして、7月7日の夜、天の川に並んだカササギの鳥の背中を渡って会えるようになりました。

今では、七夕の頃、あちらこちらで竹に色とりどりの短冊をつけた七夕飾りが見られます。竹は、天に向かってどんどん伸びていきます。竹に願いを託し、願いが天に届くようにと気持ちを込めています。

あなたは、どんな願いごとをしましたか？